

(別紙2-1)

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年3月22日

【評価実施概要】

事業所番号	4271300420		
法人名	有限会社 五葉会		
事業所名	グループホーム静豊庵		
所在地	〒854-0202長崎県諫早市森山町慶師野778番地 (電話) 0957-20-5555		
評価機関名	特定非営利活動法人 医療・福祉ネットワークせいわ		
所在地	〒840-0015佐賀県佐賀市木原二丁目6番5号		
訪問調査日	2008年2月22日	評価確定日	2008年4月7日

【情報提供票より】 (2008年 2月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)14年 5月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	18 人	常勤 16人, 非常勤 2人, 常勤換算	17.5人

(2) 建物概要

建物構造	木 造り		
	2階建ての	1～2階部分	

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	22,000・32,000 円	その他の経費(月額)	5,000+実費 円
敷 金	有(円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	- 円	昼食 - 円
	夕食	- 円	おやつ - 円
	または1日当たり 1,000 円		

(4) 利用者の概要 (2月 1日現在)

利用者人数	18名	男性 3名	女性 15名
要介護1	2名	要介護2	5名
要介護3	5名	要介護4	5名
要介護5	1名	要支援2	-名
年齢	平均 84.5歳	最低 65歳	最高 94歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	高木内科胃腸科医院 清水歯科医院 宮崎病院
---------	-----------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは、図書館などの公共機関が点在している地域の小高い丘の斜面に位置し、緑を中心とした風景が見渡せる環境にあります。ご利用者はその風景を眺めながら「今度はあそこに行ってみよう」と活動意欲を表されているようです。スタッフ全員が、理念にある「和をもって・・・」という言葉大切にされ、地域との和、ホーム内の和を重んじたご利用者支援を心掛けられています。また、ご利用者の重度化に向け救急車対応がしやすくなるよう駐車場を整備しなおすなど、優先順位を検討した上での積極的な改善にも取り組まれています。ご利用者は、チームワークのとれたスタッフに見守られ、安心して過ごされているようです。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 改善に向けた取り組みが行われています。 前回の指摘事項については、取扱いに必要な物品の保管場所を工夫するなどの改善が行われています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) スタッフへの評価の意義の浸透に努められています。 自己評価には、その意義や評価項目の理解及び課題の共有化を目的にスタッフ全員で取り組まれており、会議で共有されています。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 会議開催の頻度について今後の取り組みに期待します。 運営推進会議規程を作成されるなどの前向きな姿勢はうかがえますが、まだ十分な開催頻度には至っていません。今後の開催頻度について見直されることが求められます。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) ご家族の意見を聴取する姿勢がうかがえます。 意見箱を設置されるなどご家族の意見を聴取する仕組みがあり、面会時などの意見の聴取も心掛けられています。今後も、ご意見や苦情の積極的な聴取からサービスの質の向上につなげるといった取り組みに期待できます。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 積極的な活動が見受けられ、今後の取り組みにも期待できます。 地域のお祭などご利用者を中心に据えた取り組みがうかがえ、自治会や地域の清掃活動にも参加されるなど、地域との関係作りに努められています。また、地域の消防団への災害時の協力依頼も行われており、地域と共にご利用者を支えていこうとされる姿勢が見受けられます。

(別紙2-2)

2. 評価結果 (詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念の共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ホーム独自の理念は、地域の中での、また家庭的な雰囲気の中での「和」を大切に考えられ作成されており、名前の由来である「静かで豊かな」という思いと融合し、実践に向けた取り組みが展開されています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は掲示され、月二回の会議の中で唱和及び話し合いが行われています。スタッフへの浸透状況もヒアリングで確認できます。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	のんご祭やよらんね祭など地域行事に参加され、ご利用者の踊りへの参加などご利用者を主役とした取り組みも行われています。その他、自治会や地域の清掃活動への参加など、地域の一員として交流を深めるための取り組みが見受けられます。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価制度の意義や求められているものの理解を深めるために、スタッフ全員で自己評価に取り組みされており、前回の外部評価の結果を踏まえた改善活動や今回の自己評価による課題の抽出が行われています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議規程を策定されるなどの前向きな姿勢はうかがえますが、開催頻度については十分な状況ではありません。	○	運営推進会議の開催頻度について見直すことが求められます。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域のお祭での市町村担当者とのかかわりから、ご利用者の個々の問題についての相談など、市町村との連携した支援も行われています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	ご利用者の状況報告は、面会時に口頭で行われ、便りや手紙による報告も行われています。その他検査結果表による健康面の報告や金銭出納帳による金銭面の報告も行われています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を設置するなど、ご家族の意見を積極的に聴取する姿勢は見受けられ、面会時の意見の聴取にも努められています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	管理者を含めたスタッフ間のコミュニケーションが良好で、スタッフの希望を重視した勤務体制を心掛けられています。そのことがスタッフの定着率を上げているようで、ご利用者は馴染みのスタッフの中で生活されています。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修受講後はレポートが提出され会議での発表により情報の共有化が計られています。その他、業務中での指導も行われています。スタッフも資格取得などを目標に能力向上に努められています。しかし、研修計画などを用いた組織的なスタッフ育成には至っていません。	○	スタッフ育成の面から、スタッフ一人ひとりの研修履歴等を把握した上での教育計画作成が求められます。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	2か月に一回の市のグループホーム連絡協議会に、スタッフの役割や特性に応じた参加が行われていますが、その他の取り組みは見受けられません。	○	グループホーム間の相互見学など質の向上やスタッフのスキルアップにつながる積極的な取り組みを期待します。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前にご本人やご家族の状況に応じて居宅などを訪問し、ご本人も含めた見学の受け入れも行われています。また、入居直後はご家族との連絡相談を密に行い、ご本人の好まれる食事の提供や、寄り添いながらの対応に努められています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	ご利用者からは、戦時中の話など昔話から教えられることも多いとのこと。スタッフはご利用者を家族の一員として喜怒哀楽を共有できるよう心掛けられており、ご利用者の感謝の言葉などがスタッフの気持ちの高揚につながっています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりの中での気づきや家族との連携により、ご利用者の意向の把握に努められています。家族のいる人、いない人それぞれ異なる対応により一人ひとりの思いの把握に努められています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人やご家族等からの情報及びスタッフの気付きなどについて、会議で話し合いが行われプランが作成されています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	原則として3ヵ月に一回、介護計画についての見直しが実施されています。状態変化時の随時の見直しについては、その都度見直されるとのことですが、現状はご利用者が落ち着かれており実績はないとのこと。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ご利用者やご家族の状況に応じて、通院介助や外部の美容室の利用などの支援が行われています。その他ご家族の付き添いや終末期への対応なども可能とのことで、柔軟な対応を心掛けておられます。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医はご利用者等の希望により選定され、医師との連携も図られています。検査データは事業所に保管する他、ご家族にも渡され、緊急の対応についても報告が行われています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期については、家族とホーム及び医師で話し合う場を設け、ご家族の意向や医師の意見などを踏まえ対応されています。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	言葉遣いや対応など、ご利用者のプライドに対する配慮が見受けられます。また、情報漏えいや個人情報の取り扱いに対してもミーティング時にスタッフ間で共有され注意されています。その他、利用目的の同意を得られるなどの取り組みもうかがえます。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な一日の流れはありますが、体調や気分に応じ臨機応変な支援を心掛けられています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備や後片づけなど、ご利用者の状況に応じた協働が見受けられ、同じテーブルでスタッフも食事を取られています。しかし、ユニットによっては、ご利用者の重度化などにより協働や一緒に食事をするのが困難になってきています。	○	スタッフの食事については、それぞれが準備したお弁当ではなく、ご利用者と同じ食事を食べられることを期待します。同じものを食べることで、味やメニューに関する共通の話題につながり、より家庭的な雰囲気につながると考えられます。
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	介助の必要な方の入浴は、スタッフ配置の関係上困難な時間帯もありますが、なるべくご利用者の意向に基づく支援に努められています。介助者の性別については、希望に応じた対応が行われており、女性は女性スタッフが介助されています。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	ご利用者の生活歴や習慣などをフェイスシートに取りまとめ、それをヒントに食事の準備や後片づけ、畑仕事やぬり絵、新聞折りなど役割や楽しみごとの支援に努められています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ご利用者の状態や季節的な配慮のもと、散歩や草むしりなど思い思いに外出いただけるよう努められています。近くの公園への外出なども促されており、車椅子による外出支援も行われています。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は施錠されることなく、ご利用者の外出は、癖や傾向を把握し対応されています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回の火災訓練が実施されており、消防団の方を中心にではありますが地域への災害時の協力依頼も行われています。食料品や水の備蓄や災害時の必要品も準備されています。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分の摂取量や食事の形状などについて個別対応が行われています。管理者が栄養士でありバランスなどのチェックも行われています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用スペースは明るくゆったりと過ごしていただけるよう配慮されており、季節を取り入れた飾りや写真などが飾られています。また、イベントに応じた飾りつけなど、スタッフとご利用者が協働される場面もあるとのこと。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	持ち込み品には、特に制限を設けられておらず、ご家族と相談され馴染みのものを持ってきて頂くよう働きかけも行われています。居室には、使い慣れた家具やヌイグルミ、位牌などが持ち込まれています。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票を添付すること。